

## 第1回南丹市ケーブルテレビ事業の在り方審議会要旨

## 1. 諮問の内容

西村市長から井上会長に対し諮問。

「南丹市ケーブルテレビ事業の在り方審議会条例（令和2年条例第63号）第2条の規定に基づき、南丹市ケーブルテレビ事業に係る今後の運営の在り方について、貴審議会の意見を求めます。」

## 2. 現状の報告

- ・南丹市ケーブルテレビのこれまでの沿革とサービス内容について説明  
ケーブルテレビの放送内容、番組内容、加入者数推移等
- ・ケーブルテレビ事業の収支状況について説明  
現状収支は赤字となっている。今後も継続してサービスを維持するにはさらなる負担が必要となる。
- ・南丹市の財政状況について説明  
人口動態は人口減少傾向。市の今後の財政見通しは歳入よりも歳出が上回る状況になる。今のままではケーブルテレビ事業の継続が困な状況。
- ・近隣市町の状況について説明  
さまざまな運営をされているが、傾向としては民営化に舵を切る自治体が多い。

## 3. 審議会意見

## 【現状についてなど】

- ・ケーブルテレビのおかげでさまざまな情報を入手できている。今後もこの事業が継続して行けるよう少しでもよくなるよう力になれたらと思う。
- ・番組情報を新聞やHPお知らせ版以外にSNSなどで確認できるともっと利用が増えるのでは。
- ・ケーブルテレビの仕組や運営について理解できた。加入するにはどれくらいの費用負担が発生するのか。

## 【運営についてなど】

- ・指定管理は決められた予算の中で運営するもので、なぜ赤字になるのか。
- ・インターネットサービスを維持していくには具体的にどういう部分に費用が必要となるのか。
- ・何か新しい事をするためには機材が必要になるとともに、人材についても求められる技術がある中で、優先しなければいけないものも出てくる。このま

ま税金がずっと使われるようでは、財政を圧迫してしまう。

**【今後についてなど】**

- ・財政難であれば民営化、広域事業化、料金を値上げするという選択の中で協議していくしかないのではないか。
- ・人口減、設備老朽化が差し迫っている状況では、危機感を持って動く必要があると感じる。
- ・民営化した場合、事業やサービスがどのようにプラスに働くのか。
- ・テレビ事業とインターネット事業を分けて運営することはできるのか。
- ・民営化した場合、地域密着型の自主放送を今まで通り発信できるのか。